令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- . スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- Ⅱ マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- Ⅲ スポーツを通じたインクルーシブな社会(共生社会)の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- ▼ スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 八千代町立西豊田小学校 】

1 実践テーマ	Ⅲ · V
2 実施対象者	3年生 33名 4年生 40名
(学年·人数)	5年生 47名 6年生 36名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 (パラリンピアン講演会) ③ その他 ()
	(2) 地域における活動
4目標 (ねらい)	パラリンピアンの体験を聞き、本気でスポーツに向き合う姿勢を感じる ことでスポーツを楽しもうとする心を育む。
5 取組内容	・パラリンピックについて動画などを通して学ぶ。 ・動画を見て、感じたこと・気づいたことを自由に記述する。 〈実 践〉 ・パラリンピアン 小池岳太選手による講演会 ・スライドショーを用いた講演 ・試合で使う道具の見学 〈事後学習〉 ・講演会で感じたことや講演会の前と後でパラリンピアンについて感じ方が変わったことを記述する。 ・スポーツをどのように楽しんでいきたいかについて、自分の考えをまとめる。 ※3年生は、福祉の学習をしているので、福祉の観点も含めて学習した。 ・体が不自由で大変なことがある。 ・大変だけど自分にできることを精一杯やって楽しもうとしている。 ・チャレンジしている。





6 主な成果

多くの児童が、どんなに大変なことがあっても、自分にできることの中であきらめずに取り組むことの大切さを感じていた。スポーツというよりもどんな状況下でもあきらめない心について感じることが多い様子だった。また、福祉も含めて学習したことで、パラリンピアン自身に関心が向いていた。パラリンピックを知らない児童もいたので、世の中には多くのスポーツがあると言うことを感じることができたと思う。その多くのスポーツから

があると言うことを感じることができたと思う。その多くのスポーツから 自分にあったスポーツ、経験したいスポーツを選んでいくことの大切さも合 わせて指導し、スポーツを楽しむ心を育んでいきたい。

7 実践において 工夫した点 (事業の特色)

3年生が総合的な学習の時間で福祉の学習をしていたので、福祉も関連させながらパラリンピックについて知り、誰でもスポーツを楽しむことができると感じられるよう事前学習でパラリンピック関係の動画を見せた。

8 主な課題等

3年生で、福祉も関連させながらパラリンピックについて知り、誰でもスポーツを楽しむことができると感じるようにしたかったが、福祉を関連させるとスポーツよりもパラリンピアン自身に関心をもつ児童が多かった。

あきらめない心など大切なことを学び、児童一人一人に感じることはあったようなのでよかったがスポーツを楽しもうとする心を感じる児童が少なくなってしまった。

9 来年度以降の 実施予定

- パラリンピックの種目を体育の時間を使って実施する。
- スポーツが楽しいと感じる教材作り